

各 位

塩基編集に関する基本特許 米国および中国で成立

株式会社バイオパレット（本社：神戸市灘区、代表取締役：村瀬祥子）は、国立大学法人神戸大学から塩基編集に関する複数の特許出願について実施許諾を受け、それらの権利化に共同で取り組んでいます。このたび、塩基編集の基本発明に関する国際特許出願（PCT/JP2015/056436）が米国および中国において成立し、特許付与がなされたのでお知らせいたします。

米国	特許番号： 10,655,123	登録日：2020年5月19日
中国	特許番号： ZL2015 8 0023875.6	登録日：2020年3月20日

このたび成立した特許は、神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科の西田敬二教授・近藤昭彦教授らの研究成果である塩基編集技術（ゲノム編集技術）について権利化を図るものです。米国および中国に先立ち、日本、欧州、シンガポール、香港において権利が成立しています。世界で神戸大学とハーバード大学の2グループのみが基本特許を有する塩基編集技術は、ゲノム編集技術であるCRISPR/Cas9をさらに発展させたものであり、DNAの2本鎖の切断を伴わずに一塩基を置換することが可能です。従来の技術と比べて、編集の精密さと正確さ、育種の効率性、細胞毒性の低さなどが大きな特長として挙げられます。

当社はこの独自の塩基編集技術を微生物の育種・改変に応用し、遺伝子編集によって最適化された細菌製剤（Living Medicine）を投与する、革新的な「マイクロバイオーム・セラピューティクス（治療）」の開発に取り組んでいます。「マイクロバイオーム×ゲノム編集」の分野におけるリーディングカンパニーを目指すべく、最初のターゲットを口腔内のマイクロバイオームに定め、早期の実用化に向けて外部機関とも連携を図りながら概念実証を進めています。同時に、神戸大学から独占的に実施許諾を受けているその他の塩基編集に関する特許出願についても戦略的かつ着実な権利化を促進し、最先端バイオベンチャー企業のグローバル展開において重要な事業基盤のひとつである特許ポートフォリオをより一層強化してまいります。

<塩基編集の基本発明に関する国際特許出願>

発明の名称：	標的化したDNA配列の核酸塩基を特異的に変換するゲノム配列の改変方法及びそれに用いる分子複合体
国際出願番号：	PCT/JP2015/056436
国際公開番号：	WO 2015/133554
出願人：	国立大学法人神戸大学

本件に関するお問い合わせ先

株式会社バイオパレット

Email: contact@biopalette.co.jp